

次世代学園都市ゾーンを中心とする都市機能が連携する利便性の高いエリアにおいて、高度利用や低未利用地の有効活用、新規宅地整備などにより、増加する人口の一部の受け皿を確保します。

広島大学周辺地区においては、広島大学キャンパス内の未利用地の開発、既成市街地のリノベーションによるまちづくり、新市街地におけるスマートシティの形成により、グローバル人材から選ばれる居住空間の形成を目指します。

吉川地区においては、田園景観と居住環境が共存したまちづくりを進めていきます。

広島大学周辺地区において、インキュベーション施設の整備や研究開発拠点の誘致を進め、研究者や企業が集まり、先端研究分野を起点とした企業集積や大学発ベンチャー設立に向けた動きを創出します。

先端産業が集積する吉川地区へ新たに市営産業団地を整備し、半導体関連産業をはじめとした先端産業の集積を目指し戦略的な企業誘致を推進します。

また、大学と連携した半導体関連産業などの高度人材の育成や企業の投資促進のための助成など、先端産業の集積に向け、様々な企業支援を実施します。

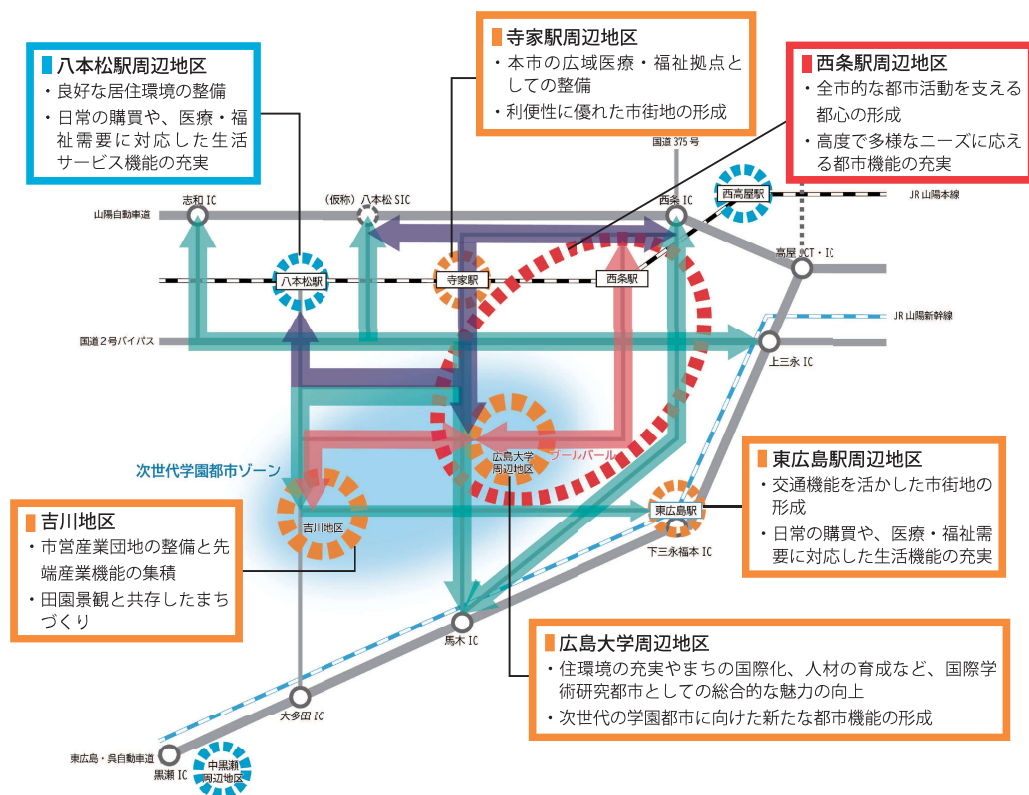
自動運転・隊列走行 BRT 導入検討

自動運転・隊列走行BRTとは、従来のバスよりも高度な性能(速達性・定時性・輸送力など)を発揮させ、他の交通機関との接続性を高めるなど、高い利便性を提供するBRT(バス高速輸送システム)に、自動運転と隊列走行の技術を融合した次世代の交通システムです。

【取り組み】

- ・ブルバールにおける自動運転レベル4(※6)の認可を目指します。
- ・人と環境にやさしく、市民や来訪者の活動や交流の増加に貢献する交通システムの導入を検討します。
- ・今後の社会情勢の変化や事業の進捗状況などに応じ、吉川地区や新幹線東広島駅までの延伸も視野に入れ検討します。

※6 自動運転レベル4：特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態。



■ ネットワーク

次世代学園都市ネットワーク (西条駅と広島大学周辺地区、吉川地区間)	ブルバールによる西条駅・広島大学間の連携を吉川地区まで延伸し、多様な人材の交流を促進し、イノベーションの創出を支えるネットワークとして設定します。
産業強化ネットワーク (産業団地と高速道路IC間)	既存の産業団地及び先端産業機能の集積を図る吉川地区から効率的に高速道路ICへのアクセスを可能とし、広域的な経済活動の活性化を支援するネットワークとして設定します。
拠点連携ネットワーク (拠点間)	市街地内の通過交通を抑制するとともに、異なる都市機能を有する拠点間の円滑な連携を支援するネットワークとして設定します。

■ 拠点

都市拠点 高度な都市機能が集積し、全市民的な都市活動を支える拠点	西条駅周辺地区
特定機能拠点 専門的機能が集積し、それぞれが有する機能の振興を支える拠点	東広島駅周辺地区、 寺家駅周辺地区、 広島大学周辺地区、吉川地区
地域拠点 日常生活に必要な都市機能が集積し、地域のにぎわいと交流を支える拠点	八本松駅周辺地区、 西高屋駅周辺地区、 中黒瀬周辺地区